

米国エネルギー革命関連ファンド (年1回決算型)

為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし
愛称：エネルギーレボリューション

運用報告書(全体版)

第11期(決算日2024年11月27日)

作成対象期間(2023年11月28日～2024年11月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	為替ヘッジありコース	為替ヘッジなしコース
商品分類	追加型投信/海外/その他資産	
信託期間	2013年11月29日から2026年9月28日までです。	
運用方針	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP*を主たる投資対象とする投資信託証券(投資信託および外国投資信託の受益証券(投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。))。以下同じ。)および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 ※MLPには、エネルギー関連事業等に投資するMLPから株式会社へと会社形態を変更して、同事業を継続する企業の株式を含みます。 投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。 投資する投資信託証券は、投資対象市場の動向等を勘案して適宜見直しを行いません。 投資信託証券への投資比率には特に制限は設けず、投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	投資する投資信託証券については、実質的な外貨建資産については為替ヘッジを行なわないことを基本とするもの、もしくはこれらに類するものに限定することを基本とします。
主な投資対象	投資する投資信託証券については、実質的な外貨建資産については為替ヘッジを行なうことを基本とするもの、もしくはこれらに類するものに限定することを基本とします。	投資する投資信託証券については、実質的な外貨建資産については為替ヘッジを行なわないことを基本とするもの、もしくはこれらに類するものに限定することを基本とします。
主な投資制限	投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、外貨建資産への投資は上場投資信託証券およびこれらに関連する資産への投資に限るものとします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留利益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 (受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

<為替ヘッジありコース>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率						
	円		円	%	%	%	%	%	百万円	
7期(2020年11月27日)	4,860		0	△14.0	0.0	—	—	98.6	298	
8期(2021年11月29日)	7,117		0	46.4	0.0	—	—	98.5	245	
9期(2022年11月28日)	9,353		0	31.4	0.0	—	—	98.0	181	
10期(2023年11月27日)	9,673		0	3.4	0.0	—	—	97.7	168	
11期(2024年11月27日)	13,991		10	44.7	0.0	—	—	95.6	265	

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		騰 落	率						
(期 首) 2023年11月27日	円		%	%	%	%	%	%	
11月末	9,673		—	0.0	—	—	—	97.7	
12月末	9,698		0.3	0.0	—	—	—	97.8	
2024年1月末	9,529		△ 1.5	0.0	—	—	—	97.6	
2月末	9,893		2.3	0.0	—	—	—	95.1	
3月末	10,202		5.5	0.0	—	—	—	97.9	
4月末	10,947		13.2	0.0	—	—	—	98.2	
5月末	11,101		14.8	0.0	—	—	—	98.4	
6月末	11,045		14.2	0.0	—	—	—	97.9	
7月末	11,546		19.4	0.0	—	—	—	97.8	
8月末	11,871		22.7	0.0	—	—	—	97.1	
9月末	12,059		24.7	0.0	—	—	—	97.1	
10月末	12,090		25.0	0.0	—	—	—	97.1	
11月末	12,617		30.4	0.0	—	—	—	97.8	
(期 末) 2024年11月27日	14,001		44.7	0.0	—	—	—	95.6	

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

＜為替ヘッジなしコース＞

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率						
	円		円	%	%	%	%	%	百万円	
7期(2020年11月27日)	5,207		0	△18.9	0.0	—	—	98.7	1,233	
8期(2021年11月29日)	8,323		0	59.8	0.0	—	—	98.4	1,307	
9期(2022年11月28日)	13,420		20	61.5	0.0	—	—	97.9	1,309	
10期(2023年11月27日)	15,747		20	17.5	0.0	—	—	98.0	1,054	
11期(2024年11月27日)	24,554		30	56.1	0.0	—	—	96.9	1,588	

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		騰 落	率						
(期 首) 2023年11月27日	円		%	%	%	%	%	%	
11月末	15,747		—	0.0	—	—	—	98.0	
12月末	15,579		△ 1.1	0.0	—	—	—	97.6	
2024年 1月末	14,704		△ 6.6	0.0	—	—	—	97.8	
2月末	16,070		2.1	0.0	—	—	—	98.3	
3月末	17,007		8.0	0.0	—	—	—	97.9	
4月末	18,383		16.7	0.0	—	—	—	97.9	
5月末	19,340		22.8	0.0	—	—	—	97.8	
6月末	19,378		23.1	0.0	—	—	—	97.8	
7月末	20,769		31.9	0.0	—	—	—	97.7	
8月末	20,760		31.8	0.0	—	—	—	98.3	
9月末	19,814		25.8	0.0	—	—	—	97.8	
10月末	19,763		25.5	0.0	—	—	—	98.1	
11月末	21,989		39.6	0.0	—	—	—	98.1	
(期 末) 2024年11月27日		24,584	56.1	0.0	—	—	—	96.9	

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<為替ヘッジありコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,673円

期 末：13,991円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率：44.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年11月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）からのインカムゲイン（利息収入）

実質的に投資している、米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPからのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

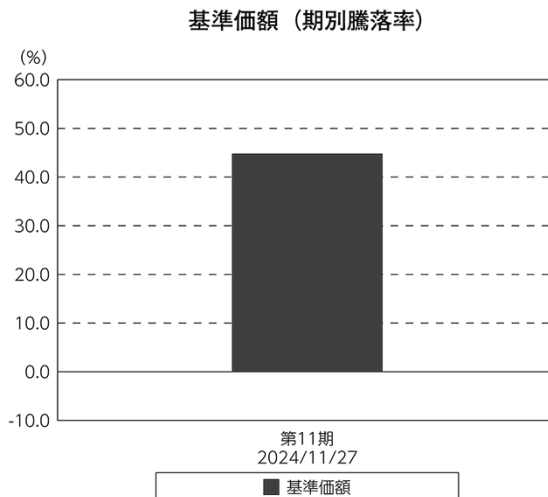
為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）

<為替ヘッジありコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、分配原資の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり10円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第11期
	2023年11月28日～ 2024年11月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.071%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,130

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

<為替ヘッジなしコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：15,747円

期 末：24,554円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率： 56.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年11月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）からのインカムゲイン（利息収入）

実質的に投資している、米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPからのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

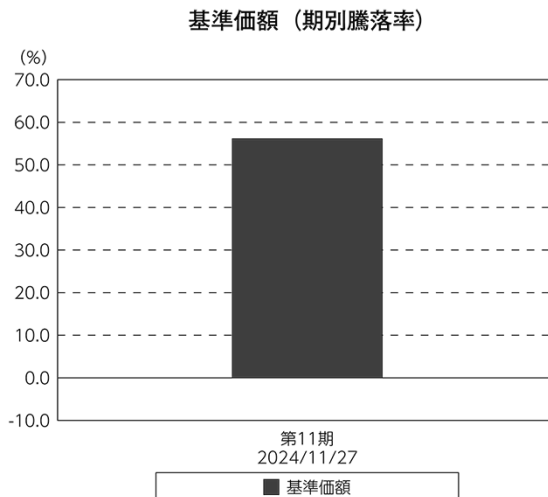
円／米ドルの為替変動

＜為替ヘッジなしコース＞

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、分配原資の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり30円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第11期
	2023年11月28日～ 2024年11月27日
当期分配金	30
(対基準価額比率)	0.122%
当期の収益	30
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16,656

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

＜為替ヘッジありコース／為替ヘッジなしコース＞

○投資環境

当ファンドが主要投資対象としているMLPの代表的な動きを示すアレリアンMLP指数は、当作成期を通じて上昇しました。当作成期の前半は、中東地域での地政学的リスクが意識されたことなどから原油先物価格が上昇し、MLP市場は上昇しました。また、FOMC（米連邦公開市場委員会）を経てFRB（米連邦準備制度理事会）が2024年に複数回の利下げを実施するとの期待が高まり、投資家のリスク選好色が強まったことも、MLP市場の上昇要因となりました。当作成期の半ばは、米国の利下げ期待の浮き沈みが引き続き投資家心理に影響を及ぼす展開となりました。そうした中、軟調な米雇用統計の結果やパウエルFRB議長の議会証言を受け、FRBの利下げ期待が強まった局面で、MLP市場は上昇しました。当作成期の後半は、軟調な米経済指標を背景に米国の景気後退懸念が浮上し、投資家のリスク回避姿勢が強まった局面でMLP市場は下落しました。ただその後は、米国の大統領選挙でのトランプ氏の勝利を受けて減税や規制緩和への期待が高まり、米国株式市場が上昇したことから、MLP市場も上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり]

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス]、および[野村マネーインカム マザーファンド]の受益証券を主要投資対象としました。当運用期間においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス]の受益証券への投資比率をおおむね高位を維持しました。

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス]

米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPに投資するとともに、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用しました。

[米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし]

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス]、および[野村マネーインカム マザーファンド]の受益証券を主要投資対象としました。当運用期間においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス]の受益証券への投資比率をおおむね高位を維持しました。

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス]

米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPに投資しました。

＜為替ヘッジありコース／為替ヘッジなしコース＞

【野村マネーインカム マザーファンド】

残存1年以内の公社債等の短期有価証券やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

◎今後の運用方針

【米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり】

〔ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス〕、および〔野村マネーインカム マザーファンド〕の受益証券を主要投資対象とします。通常の場合においては、〔ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス〕の受益証券への投資を中心とします※が、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案し決定します。

※通常の場合においては、〔ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス〕受益証券への投資比率は、おおむね90%以上を目処とします。

【ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス】

米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を目指します。また、組入資産を原則として対円で為替ヘッジを行ないます。

当ファンドは、米国のエネルギー関連事業等に投資するMLPを実質的な主要投資対象とします。また、エネルギー関連事業等を行なう企業の株式等に投資を行なう場合があります。組み入れにあたっては、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心とする方針です。

原油先物価格は、米国の原油生産会社が依然として利益を確保できる水準にあります。また、LNG（液化天然ガス）の輸出や、AI（人工知能）向けデータセンターの稼働に必要な発電用天然ガスの需要増加を背景に、今後3～5年で米国の天然ガス生産は大幅に増加すると考えられます。これらの動向は、MLP企業の収益拡大に寄与すると考えられます。

長期的には、中流事業を営むエネルギー企業とMLPが魅力的な投資機会を提供すると考えています。引き続きボトムアップによる精緻な分析を行ない、バランスシートの健全性や親会社を含むサプライチェーンの状況なども評価して投資を行なってまいります。

＜為替ヘッジありコース／為替ヘッジなしコース＞

【米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし】

〔ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス〕、および〔野村マネーインカム マザーファンド〕の受益証券を主要投資対象とします。通常の状態においては、〔ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス〕の受益証券への投資を中心とします※が、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案し決定します。

※通常の状態においては、〔ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス〕受益証券への投資比率は、おおむね90%以上を目処とします。

【ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス】

米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を目指します。

当ファンドは、米国のエネルギー関連事業等に投資するMLPを実質的な主要投資対象とします。また、エネルギー関連事業等を行なう企業の株式等に投資を行なう場合があります。組み入れにあたっては、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心とする方針です。

原油先物価格は、米国の原油生産会社が依然として利益を確保できる水準にあります。また、LNG（液化天然ガス）の輸出や、AI（人工知能）向けデータセンターの稼働に必要な発電用天然ガスの需要増加を背景に、今後3～5年で米国の天然ガス生産は大幅に増加すると考えられます。これらの動向は、MLP企業の収益拡大に寄与すると考えられます。

長期的には、中流事業を営むエネルギー企業とMLPが魅力的な投資機会を提供すると考えています。引き続きボトムアップによる精緻な分析を行ない、バランスシートの健全性や親会社を含むサプライチェーンの状況なども評価して投資を行なってまいります。

【野村マネーインカム マザーファンド】

残存1年以内の公社債等の短期有価証券やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜為替ヘッジありコース＞

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年11月28日～2024年11月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 101	% 0.913	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(36)	(0.330)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(61)	(0.550)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	101	0.916	
期中の平均基準価額は、11,049円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

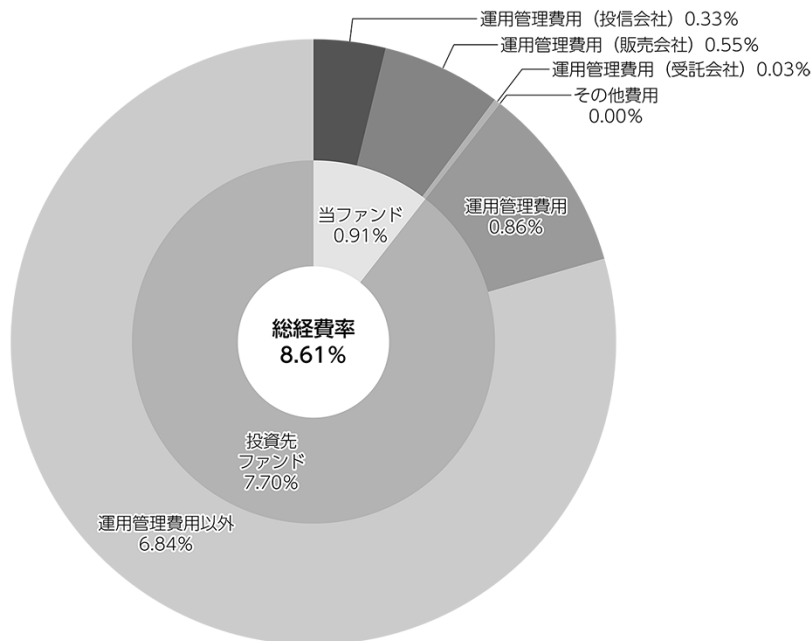
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

＜為替ヘッジありコース＞

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は8.61%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	8.61
①当ファンドの費用の比率	0.91
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.86
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	6.84

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの運用管理費用以外には、MLPを売却する際の米国の税制対応のための費用が含まれます。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<為替ヘッジありコース>

○売買及び取引の状況

(2023年11月28日～2024年11月27日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ノムラ・セレクション・ファンド-ESエネルギー・ファンド-日本円為替ヘッジ・クラス	17,241	104,719	14,148	77,867

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月28日～2024年11月27日)

利害関係人との取引状況

<米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり>

該当事項はございません。

<野村マネーインカム マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 126	百万円 53	% 42.1	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2024年11月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	柄	期首(前期末)	当期		期末
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
	ノムラ・セレクション・ファンド-ESエネルギー・ファンド-日本円為替ヘッジ・クラス	33,726	36,819	253,388	95.6
	合計	33,726	36,819	253,388	95.6

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

<為替ヘッジありコース>

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネーインカム マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年11月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 253,388	% 92.6
野村マネーインカム マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	20,326	7.4
投資信託財産総額	273,723	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

＜為替ヘッジありコース＞

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年11月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	273,723,630
コール・ローン等	20,325,174
投資信託受益証券(評価額)	253,388,358
野村マネーインカム マザーファンド(評価額)	9,968
未収利息	130
(B) 負債	8,550,290
未払金	6,492,762
未払収益分配金	189,536
未払解約金	1,024,949
未払信託報酬	840,075
その他未払費用	2,968
(C) 純資産総額(A-B)	265,173,340
元本	189,536,142
次期繰越損益金	75,637,198
(D) 受益権総口数	189,536,142口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,991円

(注) 期首元本額は174,366,616円、期中追加設定元本額は107,637,771円、期中一部解約元本額は92,468,245円、1口当たり純資産額は1.3991円です。

○損益の状況（2023年11月28日～2024年11月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,712,877
受取配当金	5,703,007
受取利息	10,330
支払利息	△ 460
(B) 有価証券売買損益	52,304,263
売買益	60,845,230
売買損	△ 8,540,967
(C) 信託報酬等	△ 1,587,080
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	56,430,060
(E) 前期繰越損益金	14,640,954
(F) 追加信託差損益金	4,755,720
(配当等相当額)	(83,214,479)
(売買損益相当額)	(△78,458,759)
(G) 計(D+E+F)	75,826,734
(H) 収益分配金	△ 189,536
次期繰越損益金(G+H)	75,637,198
追加信託差損益金	4,755,720
(配当等相当額)	(83,214,479)
(売買損益相当額)	(△78,458,759)
分配準備積立金	70,881,478

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2023年11月28日～2024年11月27日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年11月28日～ 2024年11月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	5,556,582円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	47,674,824円
c. 信託約款に定める収益調整金	83,214,479円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	17,839,608円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	154,285,493円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,140円
g. 分配金	189,536円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

<為替ヘッジありコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2024年7月4日>

②指定投資信託証券に、MLPを主要投資対象とする「米国籍外国投資信託 アレリアン MLP ETF」を追加する所要の約款付表変更を行ないました。 <変更適用日：2024年8月26日>

③上記②の変更に伴い、外貨建ETFへの直接投資を可能にする所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2024年8月26日>

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間を以下の記載のとおり変更いたしました。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

＜為替ヘッジなしコース＞

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月28日～2024年11月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 170	% 0.913	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(61)	(0.330)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(102)	(0.550)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	171	0.916	
期中の平均基準価額は、18,629円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

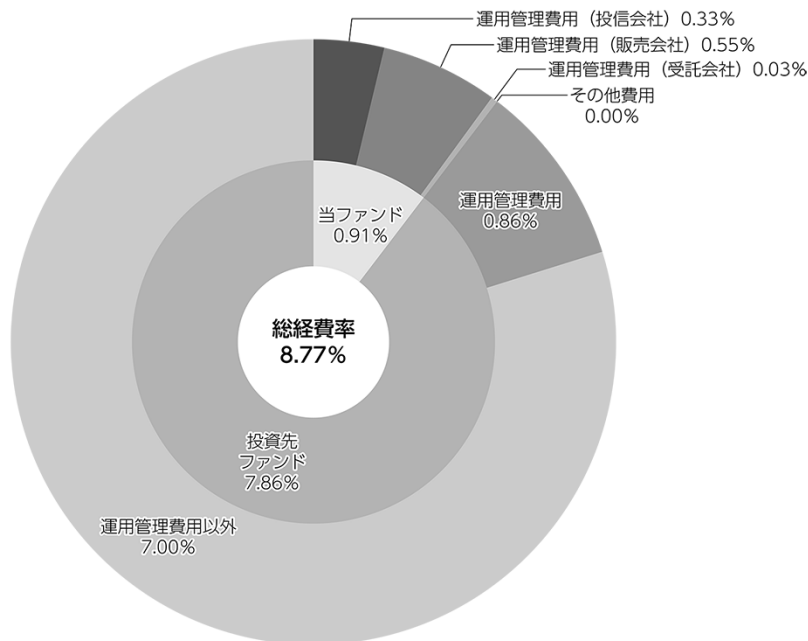
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

＜為替ヘッジなしコース＞

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は8.77%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	8.77
①当ファンドの費用の比率	0.91
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.86
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	7.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの運用管理費用以外には、MLPを売却する際の米国の税制対応のための費用が含まれます。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社から知りうる情報をもとに作成されています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

＜為替ヘッジなしコース＞

○売買及び取引の状況

(2023年11月28日～2024年11月27日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ノムラ・セレクション・ファンド-USエネルギー・ファンド-日本円クラス	口	千円	口	千円
		42,756	481,113	46,446	496,050

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月28日～2024年11月27日)

利害関係人との取引状況

＜米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし＞

該当事項はございません。

＜野村マネーインカム マザーファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 126	百万円 53	% 42.1	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2024年11月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	比率
ノムラ・セレクション・ファンド-USエネルギー・ファンド-日本円クラス	口	口	千円	%
	116,945	113,255	1,540,268	96.9
合計	116,945	113,255	1,540,268	96.9

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

<為替ヘッジなしコース>

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネーインカム マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年11月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,540,268	% 95.3
野村マネーインカム マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	75,667	4.7
投資信託財産総額	1,615,944	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

＜為替ヘッジなしコース＞

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年11月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,615,944,521
コール・ローン等	75,666,067
投資信託受益証券(評価額)	1,540,268,000
野村マネーインカム マザーファンド(評価額)	9,968
未収利息	486
(B) 負債	27,001,813
未払金	12,786,208
未払収益分配金	1,941,338
未払解約金	6,215,736
未払信託報酬	6,036,774
その他未払費用	21,757
(C) 純資産総額(A-B)	1,588,942,708
元本	647,112,820
次期繰越損益金	941,829,888
(D) 受益権総口数	647,112,820口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,554円

(注) 期首元本額は669,603,973円、期中追加設定元本額は448,603,782円、期中一部解約元本額は471,094,935円、1口当たり純資産額は2,4554円です。

○損益の状況（2023年11月28日～2024年11月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	26,897,756
受取配当金	26,852,223
受取利息	48,373
支払利息	△ 2,840
(B) 有価証券売買損益	404,890,912
売買益	513,121,335
売買損	△108,230,423
(C) 信託報酬等	△ 10,968,261
(D) 当期損益金(A+B+C)	420,820,407
(E) 前期繰越損益金	155,165,787
(F) 追加信託差損益金	367,785,032
(配当等相当額)	(503,812,366)
(売買損益相当額)	(△136,027,334)
(G) 計(D+E+F)	943,771,226
(H) 収益分配金	△ 1,941,338
次期繰越損益金(G+H)	941,829,888
追加信託差損益金	367,785,032
(配当等相当額)	(503,812,366)
(売買損益相当額)	(△136,027,334)
分配準備積立金	574,044,856

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2023年11月28日～2024年11月27日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年11月28日～ 2024年11月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	26,214,488円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	394,605,919円
c. 信託約款に定める収益調整金	503,812,366円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	155,165,787円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,079,798,560円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	16,686円
g. 分配金	1,941,338円
h. 分配金(1万口当たり)	30円

<為替ヘッジなしコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	30円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2024年7月4日>

②指定投資信託証券に、MLPを主要投資対象とする「米国籍外国投資信託 アレリアン MLP ETF」を追加する所要の約款付表変更を行ないました。 <変更適用日：2024年8月26日>

③上記②の変更に伴い、外貨建ETFへの直接投資を可能にする所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2024年8月26日>

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間を以下の記載のとおり変更いたしました。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンド (日本円為替ヘッジ・クラス、日本円クラス)

2024年1月31日決算

(計算期間:2023年2月1日～2024年1月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運 用 方 針	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)*を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 <small>*MLPには、エネルギー関連事業等に投資するMLPから株式会社へと会社形態を変更して、同事業を継続する企業の株式を含みます。</small>
投 資 対 象	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とします。
受 託 会 社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投 資 顧 問 会 社	野村アセットマネジメント株式会社
副 投 資 顧 問 会 社	クリアブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー
管 理 事 務 代 行 会 社 保 管 銀 行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書

2024年1月31日に終了する計測期間
(米ドル)

収益

銀行口座利息	1,524,300
受取配当金等(源泉徴収税控除後)	3,979,285
雑収益	5,148,097
	<hr/>
収益合計	10,651,682

費用

投資顧問報酬	594,578
管理費用	81,371
保管費用	24,713
MLPに係る納税額	5,595,781
当座借越利息	1,921
取引銀行報酬	2,922
受託報酬	16,289
法務報酬	8,371
立替費用	8,135
専門家報酬	36,637
	<hr/>
費用合計	6,370,718

純投資損益

	4,280,964
	<hr/>

投資有価証券売買に係る損益	(7,356,375)
外国通貨に係る損益	(1,546,563)
	<hr/>

当期実現純損益	(8,902,938)
	<hr/>

投資有価証券評価差損益	12,275,618
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	(30,276)
	<hr/>

当期評価差損益	12,245,342
	<hr/>

運用の結果による純資産の増減額	7,623,368
	<hr/>

	1口当たり純資産価格	発行済受益証券数	純資産
Class JPY Units (in JPY)	8,836	1,126,740	9,955,849,256
Class JPY-Hedged Units (in JPY)	4,881	228,120	1,113,550,826

組入資産明細
2024年1月31日現在
(米ドル)

	数量	銘柄	評価額	純資産比率(%)
		カナダ		
普通株	131,587	ENBRIDGE INC	4,671,339	6.22
	31,800	TC ENERGY CORP	1,253,874	1.67
			<u>5,925,213</u>	<u>7.89</u>
		カナダ計	<u>5,925,213</u>	<u>7.89</u>
		アメリカ		
合資会社	175,604	MPLX LP	6,769,533	9.01
	461,996	ENERGY TRANSFER LP	6,606,543	8.80
	419,437	PLAINS ALL AMER LP	6,476,107	8.63
	219,192	WESTERN MIDSTREA LP	6,297,386	8.39
	205,452	ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS LP	5,497,896	7.32
	80,127	CHENIERE ENERGY LP	4,240,321	5.65
	220,643	GENESIS ENERGY LP	2,544,014	3.39
			<u>38,431,800</u>	<u>51.19</u>
普通株	72,900	TARGA RESOURCES	6,193,585	8.25
	165,440	WILLIAMS COS INC	5,734,150	7.64
	383,995	ANTERO MIDSTREAM	4,700,099	6.26
	68,701	ONEOK INC	4,688,843	6.25
	188,620	KINDER MORGAN INC	3,191,450	4.25
	60,100	HESS MIDSTREAM-A	2,031,981	2.71
	33,200	DT MIDSTREAM	1,782,508	2.37
	68,996	EQUITRANS MIDSTR	703,069	0.94
			<u>29,025,685</u>	<u>38.67</u>
		アメリカ計	<u>67,457,485</u>	<u>89.86</u>
		組入資産合計	<u>73,382,698</u>	<u>97.75</u>

外国為替先渡し契約

2024年1月31日現在

	通貨(買い)		通貨(売り)		満期日	未実現損益(米ドル)
USD	41,168	JPY	5,950,000		February 13, 2024	734
USD	13,968	JPY	2,040,290		February 13, 2024	103
USD	2,294	JPY	335,140		February 13, 2024	17
USD	7,472	JPY	1,100,000		February 13, 2024	(3)
USD	16,643	JPY	2,450,000		February 13, 2024	(6)
USD	16,677	JPY	2,450,000		February 26, 2024	(7)
USD	13,895	JPY	2,050,000		February 13, 2024	(36)
USD	13,923	JPY	2,050,000		February 26, 2024	(37)
USD	118,831	JPY	17,550,000		February 13, 2024	(435)
USD	119,068	JPY	17,550,000		February 26, 2024	(444)
JPY	584,503,031	USD	3,974,420		February 26, 2024	5,950
JPY	593,387,445	USD	4,113,671		February 13, 2024	(81,142)
						<u>(75,306)</u>

野村マネーインカム マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日2024年3月27日）

作成対象期間（2023年3月28日～2024年3月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
7期(2020年3月27日)	円 9,989		% △0.1	% 31.6	% —	百万円 91
8期(2021年3月29日)	9,982		△0.1	54.8	—	91
9期(2022年3月28日)	9,974		△0.1	54.5	—	91
10期(2023年3月27日)	9,969		△0.1	57.9	—	91
11期(2024年3月27日)	9,965		△0.0	79.7	—	91

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

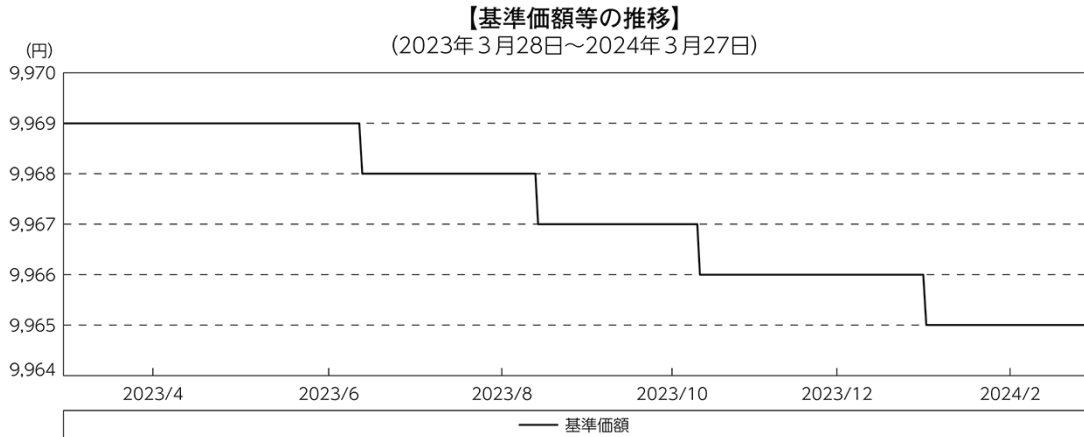
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首) 2023年3月27日	円 9,969		% —	% 57.9	% —	% —
3月末	9,969		0.0	57.9	—	—
4月末	9,969		0.0	57.9	—	—
5月末	9,969		0.0	57.9	—	—
6月末	9,969		0.0	57.9	—	—
7月末	9,968		△0.0	57.9	—	—
8月末	9,968		△0.0	57.9	—	—
9月末	9,967		△0.0	57.9	—	—
10月末	9,967		△0.0	57.9	—	—
11月末	9,966		△0.0	57.9	—	—
12月末	9,966		△0.0	36.0	—	—
2024年1月末	9,965		△0.0	57.9	—	—
2月末	9,965		△0.0	57.9	—	—
(期末) 2024年3月27日	9,965		△0.0	79.7	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、緩やかな回復が続きました。このような中、日銀は2023年7月にイールドカーブ・コントロールの運用を柔軟化し、実質的な長期金利の上限を＋1％とすることを決定、さらに10月には上限として設定した＋1％を「上限の目途」と変更しました。また2024年3月には、イールドカーブ・コントロールの運用を解除するとともに、無担保コールレートを0～0.1％程度で推移するよう促すことを決定しました。

TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、概ね－0.1％～－0.3％台で推移しましたが、期末にかけて一時0％程度に上昇しました。また、無担保コール翌日物金利は－0.01％～－0.08％程度で推移しましたが、期末にかけて0.07％台に上昇しました。

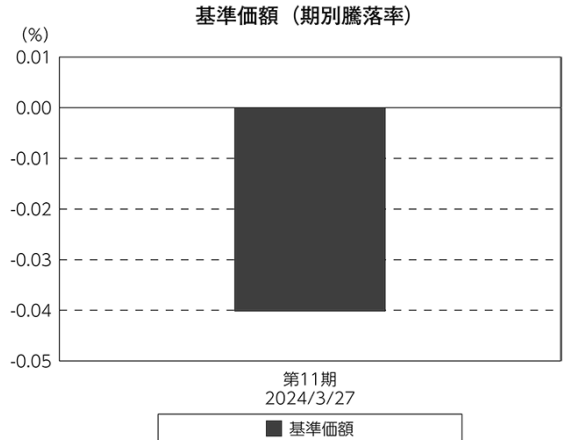
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2023年3月28日～2024年3月27日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2023年3月28日～2024年3月27日)

公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	国債証券	40,000	39,999
	特殊債券	179,388	—
			(159,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月28日～2024年3月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月27日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
特殊債券 (除く金融債)	千円 73,000 (73,000)	千円 73,105 (73,105)	% 79.7 (79.7)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 79.7 (79.7)	
合 計	73,000 (73,000)	73,105 (73,105)	79.7 (79.7)	— (—)	— (—)	— (—)	79.7 (79.7)	

* () 内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当期			期末										
		利	率	額	面	金	額	評	価	額	償	還	年	月	日
特殊債券(除く金融債)			%			千円			千円						
政保	地方公共団体金融機構債券 第62回		0.601		20,000				20,034				2024/	7/	16
	日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第213回		0.645		20,000				20,001				2024/	3/	29
	日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第222回		0.601		33,000				33,069				2024/	7/	31
合		計			73,000				73,105						

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年3月27日現在)

項	目	当期		期末		
		評	価	額	比	率
				千円		%
公社債				73,105		65.4
コール・ローン等、その他				38,629		34.6
投資信託財産総額				111,734		100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月27日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A)	資産	111,734,945		
	コール・ローン等	38,569,478		
	公社債(評価額)	73,105,355		
	未収利息	53,592		
	前払費用	6,520		
(B)	負債	20,034,000		
	未払金	20,034,000		
(C)	純資産総額(A-B)	91,700,945		
	元本	92,019,992		
	次期繰越損益金	△ 319,047		
(D)	受益権総口数	92,019,992口		
	1万口当たり基準価額(C/D)	9,965円		

(注) 期首元本額は92,019,992円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は0.9965円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・米国エネルギー革命関連ファンド Bコース(為替ヘッジなし) 80,000,000円
・米国エネルギー革命関連ファンド Aコース(為替ヘッジあり) 12,000,000円
・米国エネルギー革命関連ファンド(年1回決算型) 為替ヘッジあり 9,996円
・米国エネルギー革命関連ファンド(年1回決算型) 為替ヘッジなし 9,996円

○損益の状況

(2023年3月28日~2024年3月27日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益	362,192	
	受取利息	381,696	
	支払利息	△ 19,504	
(B)	有価証券売買損益	△396,879	
	売買損	△396,879	
(C)	当期損益金(A+B)	△ 34,687	
(D)	前期繰越損益金	△284,360	
(E)	計(C+D)	△319,047	
	次期繰越損益金(E)	△319,047	

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

○お知らせ

該当事項はございません。